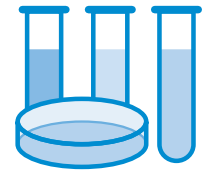


細菌検査統計報告 （当検査センター受託分）

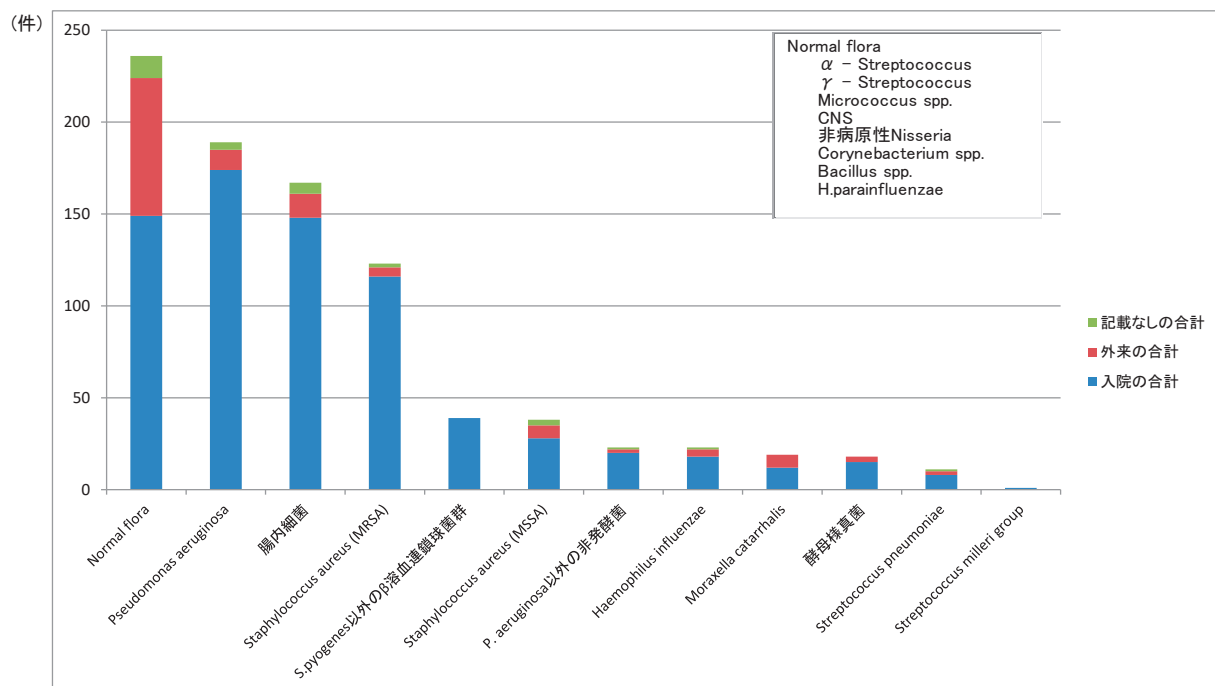


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、喀痰の細菌検出状況と、*Pseudomonas aeruginosa* の薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【喀痰】細菌検出状況 2019年10月



当センターの2019年10月分の統計で、喀痰から最も多く検出されている菌は *Pseudomonas aeruginosa*（緑膿菌）です。

緑膿菌は水まわりなどの環境中に広く分布しており、健常者に感染することはほとんどありません。しかし、免疫が低下している人に対しては呼吸器感染症を引き起こすリスクが高く、日和見感染症の代表的な原因菌とされています。

【*Pseudomonas aeruginosa* 薬剤感受性情報】

2019年10月分

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	92	0	8
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CMX	ペストコール	3	86	10
	CAZ	モダシン	86	4	10
	CZOP	ファーストシ	88	9	3
	CFPM	マキシフォーム	87	11	2
	IPM	チエナム	71	5	24
カルバペネム系	MEPM	メロペン	80	8	12
	DRPM	フィバックス	83	9	8
	BIPM	オカシン	77	12	11
	AZT	アザクタム	66	19	15
その他β-ラクタム系	S/C	スルペラゾン	76	17	7
	T/P	ゾシン	82	10	8
	AMK	アミカシン	98	1	0
アミノグリコシド系	TOB	トブラシン	96	2	2
	DKB	パニマイシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	95	2	3
	ISP	イセパシン	88	10	2
	ミノマイシン系	MINO	ミノマイシン	0	1
その他抗菌薬	FOM	ホスミン	17	26	57
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	71	7	22
	TFLX	オゼックス	63	10	27
	CPFX	シプロキサ	74	4	22
	NFLX	バクシダール	97	0	3
	PZFX	パシル	68	6	26

多剤耐性緑膿菌(MDRP)はイミペネム(IPM)、シプロキサシン(CPFX)、アミカシン(AMK)の3種類の抗菌薬に対して耐性を示す緑膿菌のことを指し、感染症法の定点報告対象(5類感染症)に指定されています。

当検査センターではIPM耐性(R)、CPFX耐性(R)、AMK中間(I)or耐性(R)の場合MDRPとして報告させていただいています。

2019年10月分の統計ではIPMとCPFXが約20%耐性(R)、AMKは1%中間(I)を示しており、2件のMDRPが検出されました。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係